別紙２－１

令和８年度高年齢者活躍企業コンテスト
厚生労働大臣表彰受賞企業事例概要

【最優秀賞】

（1）企業名　　株式会社エヴァーブルー（静岡県浜松市）

（2）創　業　　昭和 53 年（1978 年）

（3）業　種　　交通誘導警備・施設警備［その他の事業サービス業］

（4）従業員数　65 名：60 歳以上 39 名（59.9%）
うち、60 歳～64 歳　１名（ 1.5%）
65 歳～69 歳　６名（ 9.2%）
70 歳以上　　32 名（49.2%）

（5）定年等の状況
定年年齢：なし
現在の最高年齢者：83 歳

（6）主な表彰のポイント

- 定年なし。年齢等に依らない能力等に応じた賃金制度により安定した収入を得られる仕組みを導入している。
- 70 歳以上が多く、最高年齢 83 歳の就業者がいる中、希望休暇制度などの導入により、本人の事情に応じた勤務形態の選択を実現している。
- 経験年数の長短や資格の取得の有無を名札で見える化する「警備マイスター制度」、現場での貢献度などを表彰する「優秀社員表彰制度」により、モチベーションの向上を図っている。
- 熱中症応急手当や緊急連絡先等を記したカードの配付、冷暖房付きのガードマンボックスの設置や空調服の支給、冬季の防寒靴の支給などにより、夏の熱中症対策と冬季の転倒リスク軽減に寄与している。
- シニア従業員と障害者の従業員を同一現場に配置するペア就労を実施。相互の特性を活かした役割分担を実現している。

別紙２－２

令和８年度高年齢者活躍企業コンテスト
厚生労働大臣表彰受賞企業事例概要

【優秀賞】

（1）企業名　　株式会社三吉電器（茨城県日立市）

（2）創　業　　昭和 27 年（1952 年）

（3）業　種　　調速機制御盤装置製造・精密板金加工品製造［電気機械器具製造業］

（4）従業員数　25 名：60 歳以上　９名（36.0%）
うち、60 歳～64 歳　１名　（4.0%）
65 歳～69 歳　２名　（8.0%）
70 歳以上　　６名（24.0%）

（5）定年等の状況
定年年齢：70 歳
継続雇用制度：規則等により一定条件の下 75 歳まで再雇用
さらに、規則等により一定条件の下 80 歳まで再雇用
現在の最高年齢者：75 歳

（6）主な表彰のポイント
- 定年年齢 70 歳。定年後は一定条件の下 80 歳まで再雇用している。
- 再雇用者も人事評価対象。自己評価シート等を用いた評価制度を導入し、年齢に依らず、評価結果を基本給や賞与に反映している。また、定年後の役職登用を実施するなど、年齢を超えて働きがいを作り出す工夫が見られる。
- 「健康お祝い金制度」（健康診断でオール A となった場合に報奨金を支給）を導入し、従業員の健康意識の向上を図っている。
- 勤続年数 30 年以降、退職金支給年齢が選択可能に。一度退職金を取得しながら、第 2 の退職金を受け取ることも可能となっており、シニアの励みになるような個別事情に配慮した支援を実施している。

別紙２－３

令和８年度高年齢者活躍企業コンテスト
厚生労働大臣表彰受賞企業事例概要

【優秀賞】

（1）企業名　　稲村建設株式会社（鹿児島県鹿児島市）

（2）創　業　　昭和 29 年（1954 年）

（3）業　種　　土木工事、とび・土工工事、舗装工事、管工事、解体工事、
鋼構造物工事、塗装工事、水道施設工事［総合工事業］

（4）従業員数　24 名：60 歳以上 10 名（38.4%）
うち、60 歳～64 歳　３名（ 11.5%）
65 歳～69 歳　４名（ 15.4%）
70 歳以上　　３名（ 11.５%）

（5）定年等の状況
定年年齢：70 歳
継続雇用制度：希望者全員を年齢の上限なく再雇用
現在の最高年齢者：78 歳

（6）　主な表彰のポイント

- 定年年齢 70 歳。定年後は希望者全員を年齢の上限なく再雇用している。
- 再雇用者であっても、就業時間が定年前と同じ場合、賞与も含め定年前と同じ賃金を支払うこととしている。さらに、再雇用者も評価により昇給対象となることとしている。
- 現場作業に詳しいシニア層と若手現場監督者を組み合わせて就労（ペア就労）させることで、現場作業等の技術継承と若手現場監督者の育成を両立している。
- 掛金を会社負担とする業務災害総合保険に加入している（業務災害の他、従業員の私傷病による入院治療費にも対応している）。

別紙２－４

令和８年度高年齢者活躍企業コンテスト
厚生労働大臣表彰受賞企業事例概要

【特別賞】

（1）企業名　　株式会社鵜飼（岐阜県各務原市）

（2）創　業　　昭和 22 年（1947 年）

（3）業　種　　輸送用機械器具の製造［輸送用機械器具製造業］

（4）従業員数　131 名：60 歳以上 27 名（20.6%）
うち、60 歳～64 歳　９名（6.9%）
65 歳～69 歳　７名（5.3%）
70 歳以上　　11 名（8.4%）

（5）定年等の状況
定年年齢：65 歳
継続雇用制度：希望者全員を年齢の上限なく再雇用
現在の最高年齢者：79 歳

（6）　主な表彰のポイント

- 定年退職時の職務給の額に応じ 5 段階の区分の中から再雇用者の本給を決定し、再雇用者も人事評価対象としている。また、「パートタイム従業員雇用・継続審査表」用いて年 1 回の面談を実施し、評価結果によっては昇給も可能としている。
- シニア従業員と若手従業員のペア就労により、技術・技能の継承を推進している。また、溶接のロボット化に取組み、重筋作業や溶接作業といった身体負担の強い作業の負担軽減と効率化を図っている。
- 私傷病等による長期療養の支援のため、2016（平成 28）年に「私傷病による従業員の休職及び復職に関する規程」を整備している。

別紙２－５

令和８年度高年齢者活躍企業コンテスト
厚生労働大臣表彰受賞企業事例概要

【特別賞】

（1）企業名　　株式会社亀井組（徳島県鳴門市）

（2）創　業　　明治 39 年（1906 年）

（3）業　種　　建築施工管理、土木施工管理［総合工事業］

（4）従業員数　77 名：60 歳以上 14 名（18.2%）
うち、60 歳～64 歳 ５名（6.5%）
65 歳～69 歳 ６名（7.8%）
70 歳以上　　３名（3.9%）

（5）定年等の状況
定年年齢：65 歳
継続雇用制度：規則等により一定条件の下 70 歳まで再雇用
さらに、運用により一定条件の下、年齢の上限無く再雇用
現在の最高年齢者：81 歳

（6）主な表彰のポイント
- 熟練シニア従業員が「社内技術講師」となり、現場 OJT に加え「技術研修会」を定期的に開催している。これに加え「建設という仕事に関わる喜び」を伝えるメンターとして、相談対応を随時実施している。
- 24 時間 365 日利用可能な医師に健康不安等の相談ができる「チャット相談サービス」を導入している。また、現場作業時等の際に体調不良の兆候を検知した場合、本社に情報が通知される仕組み「ウェアラブルデバイス」の導入を行っている。
- 社内に農業事業部門を設置するなど、本業である建設現場の枠にとらわれない、シニア社員の特性を活かした新しい職務を創設している。

別紙２－６

令和８年度高年齢者活躍企業コンテスト
厚生労働大臣表彰受賞企業事例概要

【特別賞】

（1）企業名　　四国アイビ株式会社（愛媛県今治市）

（2）創　業　　昭和 46 年（1971 年）

（3）業　種　　社屋やマンション共用部・商業施設の清掃、施設の管理人、建物周辺の緑化業務、ホテルの客室清掃やベッドメイキング、調理補助業務等［その他の事業サービス業］

（4）従業員数　162 名：60 歳以上 83 名（51.2%）
うち、60 歳～64 歳 15 名（9.3%）
65 歳～69 歳 21 名（12.9%）
70 歳以上　　47 名（29.0%）

（5）定年等の状況
定年年齢：なし
現在の最高年齢者：85 歳

（6）主な表彰のポイント

- 定年なし。従業員の 50%以上が 60 歳以上、最高年齢 85 歳の就業を実現している。
- お客様からの声を月一回「褒められ表」にまとめ、本人にフィードバックしている。また、月 2 回の社内研修会や会社負担のランチの実施等「従業員が年齢に関わりなく顔を合わせる場」を積極的に設けている。
- 体力が必要な作業は外国人技能実習生、その他の清掃はシニア従業員が担うペア就労により、シニアの作業負担の軽減と作業の効率化を実現している。
- 労働安全衛生法上対象とならない所定労働時間が正社員の 4 分の 3 未満の従業員にも、一般定期健康診断を実施している。